

～海鳴り遙かに～

上高だより

平成30年3月23日金曜日

第 12 号



長崎県立上五島高等学校

NAGASAKI PREFECTURAL KAMIGOTO HIGH SCHOOL



「志を育む」

校長 原 昌紀

3月1日、64回生131名が学舎を巣立っていきました。上高で学んだことに誇りと自信をもって、校訓である「進取」の精神で、次世代のリーダーとして、未来に大きく羽ばたいてほしいと思います。そして、郷土上五島の発展に貢献できる人物に成長できるよう、大いに期待しています。

平成29年度が間もなく終わろうとしています。1、2年生は、4月にそれぞれ目標を立てて頑張ってきたわけですが、目標を達成できたか、目標にどれくらい近づくことができたか振り返って欲しいと思います。1月の始業式で、「人は、時間が経つと、志が薄らいだり忘れそうになる。その時は、そこをスタートに、新たに決意をすればよい、それを百万回繰り返すくらいの迫力と粘りを持つ」という話をしました。人は弱いもので、自分が立てた志を貫き通すことは容易ではありません。司馬遼太郎は、書物の中で、「志は塩のように溶けやすい」とし、「生涯の苦渋というものは、その志の高さをいかに守り抜くかというところがあり、それを守り抜く工夫は格別なものではなく、日常茶飯の自己規律にある」と記しています。塩のように溶けやすい志だからこそ、志を高く堅持するには日々のたゆまない努力が求められるのです。高校生活において、大小含めて、皆さんの前には、「困難」や「苦しみ」という壁が次々に立ちふさがります。その時、あえて苦しい道を選ぶのか、楽な道を選ぶのかは自分自身の判断です。楽な道ばかりを選んでみると、志した場所からどんどん遠ざかり、本当に自分が行きたい場所にはたどり着けません。志した場所にたどり着くためには、あえて困難な道を選ぶことも必要です。心を強くするのは、与えられたものによってではなく、自分の選択で掴み取ったものによってであり、それを心と体で感じることで自信に繋がるのです。

高校での1、2年間は「あっ」という間に過ぎていきます。君たちの志は、ここ上高で、十分育てられているだろうか、自分で四方に根をはり、そのための養分を十分に吸収しているだろうか、自分自身に問いかけてみてください。志を遂げるためには、困難な道を自分で歩んだ人にしか得られない、本物の充実感・成就感・地団駄を踏むような悔しさや歯がゆさを感じて欲しいのです。その中で、溶けやすい志が確固たる目標となっていくのであり、上高は、志を育む人の集団でありたいと心から願っています。

いよいよ平成30年度が始まります。4月からは、周りの環境も大きく変わります。「新学年に向け、新年度の準備に、さあやるぞ」との思いにもなる時期でもあります。生徒の皆さんは、この春休み期間中に、次なる学年に向けてしっかり準備に取り組んでほしいと思います。最後に保護者の皆様にはこの1年間、本校へのご理解、ご協力を賜りましたことに対しまして、心からお礼を申し上げます。

各学年より

1学年（66回生）より

66回生が過ごす未来について考えてみたいと思います。カッコ内は保護者の年齢。お子さんが30才で生まれたと仮定しています。

2020年	19才（49才）	東京オリンピック開催
2025年	24才（54才）	「超高齢化社会」へ。国民の30%が65才以上
2040年	39才（69才）	日本の労働人口の49%がAIやロボットで代替可能
2050年	49才（79才）	日本の人口が1億人を割り込む。

人口増加、それに伴う右肩上がりの経済という「昭和の日本」は来ないようです。保護者の方々やわれわれ教師が今まで体験したことのない未来に向かっていくのが今の高校生の人生のようです。未来を生きる3つのポイントについて石川一郎氏がこう答えています。

- ① 今の世の中を知る。
- ② 自分と違う考え方に出会う。
- ③ ①②をふまえて自分を知る

②を苦手とする生徒が増えている気がします。「食わず嫌い」とでも言いますか。身近なグループでしか交流できない。嫌いな科目は理由をつけてやらない。など2年生ではもっと「違う考え方との出会い」にチャレンジし、させたいものです。1年間お世話になりました。

2学年（65回生）より

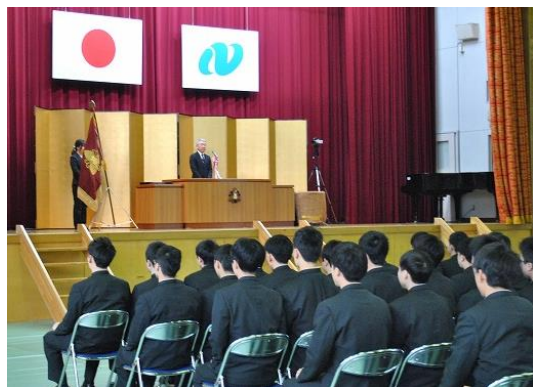
64回生が巣立ち、66回生を迎える準備が着々と進んでいます。65回生にとって最後の1年間が近づいてきました。この1年間は、上五島高校の中堅学年として、行事に、部活に、勉強に、目の前のことに懸命に過ごした生徒が多かったように思います。入学時の自分達と比べてみてください。心も体も成長したと実感するのではないのでしょうか？来年度は65回生全員が、主体的な進路選択をし、人生の次のスタート地点を決定する年です。就職希望の生徒は、多くの正しい情報を得た上で就職先を選択し、進学希望の生徒は妥協することなく志望校を目指していきましょう。先日の島内企業説明会も正しい情報を得る1つの場でしたが、積極的に質問をしましょうか？本当の情報、知りたい情報は得ようとしないと得られないものです。来年度は目の前のことに懸命に取り組み、今の自分を成長させながら、10、20年先を見据えた主体的な進路選択をしていきましょう。

3学年（64回生）より

先日、ある卒業生が久しぶりに訪ねて来てくれました。その女の子は自分が担任をした3年生の1年間ずっと進路に悩み続け、センター試験が終わっても進学する分野を決めきれず、さらには大学進学後も悩み続けて、結局2年生に上がるときにコース変更をしました。それでも進むべき道に悩み、その答えを探して関西・四国といろんな大学に行き、勉強・ボランティアと活動し続けました。その結果、この春大学を卒業し、国家試験合格率30%という難関を突破して社会福祉士として働くことになったそうです。私はこの子の姿に、「育てたい生徒像」の実現を見ることができました。自分が生きる道は誰かから示されるものではない。「悩み」を正面から見据え、そこに立ち向かい、荒れ地に自分の道を切り開いていく力を持った若者。進路指導とは単に進学先・就職先を世話することではなく、「生きる力」「悩む力」を付けることなのだ、教えてもらった気がします。

同窓会入会式

2月28日(水)に本校体育館にて同窓会入会式・各種表彰式を行いました。同窓会入会式では、上高同窓会 明洋会の今村英文会長より卒業へのお祝いの言葉とこれから島を出て生活する卒業生への励ましの言葉がありました。また、各クラスの評議員も任命され、代表の前田友美さんが同窓会入会の挨拶とこれからの決意を述べてくれました。64回生のこれからの活躍をご期待下さい。



各種表彰

【佐田の山賞】
白濱 高太くん 末永 掌子さん 書華道部

【評議員任命】
前田 友美さん 坂下 優さん 松田 玲奈さん 小浦 渉くん 尾上 健基くん

【優良卒業生表彰】
江口 将海くん

【長崎県高等学校体育連盟卒業生顕彰ならびに全国高等学校体育連盟陸上競技専門部表彰】
白濱 高太くん

【長崎県高等学校文化連盟卒業生顕彰】
末永 掌子さん

【専門高等学校等御下賜金記念優良卒業生】
尾上 健基くん

【上高特別功労賞】
道津 新太くん 近藤 桂市くん 松本 拓末くん 原 知里さん 森 海斗くん 尾上 康基くん

【皆勤賞】
山下 大和くん 箴島 健太郎くん 樽元 涼音さん 中尾 奈央さん 浦田 菜美さん 崎谷 真衣さん 下山 実佑さん 田坂 陽奈子さん 中村 真彩さん 奈良 瑛美加さん 西 生純さん 松下 亜津紗さん 松田 怜奈さん 森 海斗くん 葛島 麻未さん 井手 聖海くん 堀江 祐真くん 松田 颯太くん 山口 太一くん

【ジュニアマイスター顕彰ゴールド】
岩間 光貴くん 大瀬良 魁くん 尾上 康基くん 高巣 歩夢くん 高巣 瞬くん 立花 晟奈くん

【ジュニアマイスター顕彰シルバー】
高井良 信明くん 堀江 祐真くん 大水 星舞くん 川口 大賀くん 野口 颯真くん 福島 璃空くん 干野 颯一郎くん 松島 佑樹くん

卒業証書授与式

平成30年3月1日(木)に、第64回卒業証書授与式を行いました。式では、国歌斉唱の後、普通科104名・電気情報科27名 総勢131名の一人一人に原昌紀校長から卒業証書が手渡されました。



異動される先生方

古賀 巖 教頭先生 長崎北陽台高校へ
大久保 耕造先生 長崎西高校へ
近藤 栄作 先生 長崎南高校へ
陣内 豊陽 先生 佐世保工業高校へ
松永 俊 先生 島原高校へ
水谷 成美 先生 大崎高校へ
岩永 晋 先生 長崎工業高校定時制へ
矢野 伸一 先生 長崎鶴洋高校へ

松田 大輔 先生 大村高校へ
藤 結貴 先生 佐世保南高校へ
山口 聖月 先生 福岡県へ
染田 陽子 主任 長崎北高校へ
森下 理史 主任主事 長崎工業高校へ
松瀬 武尊 先生 長崎工業高校へ

先生方お世話になりました。

4月の行事予定

4日(水) 新入生オリエンテーション
7日(土) ①スタディサポート
9日(月) 1学期始業式・親任式・入学式
10日(火) ①課題テスト、②③到達度テスト
①②各種検査

16日(月) 部活動編成
17日(火)～18日(水) ①宿泊研修
18日(水)～19日(木) ①宿泊研修
17日(火)～27日(金) 面談週間
24日(火) 歓迎遠足